

**第2次ふるさとくわなし元気プラン  
(榎梨地域ビジョン)**

**令和3(2021)年3月**

**榎梨自治振興会**

**(広島県三原市大和町榎梨)**



## 目 次

序章	計画策定にあたって	1
1	地域ビジョン策定の目的	1
2	地域ビジョンの役割	1
3	地域ビジョン策定の取組	1
1章	地区の概要	2
1	位置	2
2	人口・世帯数	3
3	地区活動の状況	4
2章	地区の魅力・資源と問題点・課題	6
1	地区の魅力・資源	6
2	地区の問題点・課題	7
3章	地域ビジョン	8
1	地区の将来像	8
2	地区づくりの目標設定	8
3	地区づくりの体系	10
4	地区づくりの基本計画	11
5	計画の推進体制	20



## 序章 計画策定にあたって

### 1 計画策定の目的

榎梨地区は、大和地域において比較的利便性に恵まれた地区で、大和地域を校区とする大和小学校や大和中学校が立地しています。しかしながら、若年層を中心に人口が流出するなど、高齢化・少子化が進行し、地区活動の担い手不足、公共公益施設の減少などにより、地区の活力が失われてきています。

こうした状況を打開するには、自分たちの地区のことは自分たち自らで考え、一人ひとりがそれぞれの立場で協力して地区の活性化に取り組むことが一段と重要になっています。

このため、榎梨自治振興会（地域活性化実行委員会）では、平成27(2015)年3月に策定した「くわなし元気プラン」とその後の取組を踏まえて、新たに「第2次くわなし元気プラン（榎梨地域ビジョン）」の策定に取り組みました。

### 2 計画の役割

「第2次ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地域ビジョン）」は、榎梨自治振興会（地域活性化実行委員会）が中心になって取り組むことを総合的に示したもので、住民、関係団体、事業所などで地区づくりの方向性を共有するとともに、共通の指針とするものです。

また、計画内容を広く発信して、榎梨地区出身者、都市住民、大学など、多様な方の幅広い応援を働きかけるために活用します。

### 3 計画策定への取組

榎梨自治振興会（地域活性化実行委員会）では、各種団体の代表者などで構成する「榎梨地域ビジョン策定会議」を開催し、「第2次ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地域ビジョン）」の策定に取り組みました。

また、計画策定にあたっては、住民の皆さんの幅広い意見を聞くために、地区住民全員を対象としたワークショップ（意見交換会）を開催しました。

# 1章 地区の概要

## 1 位置・面積

本地区は、三原市大和地域の西部に位置しています。

地区中心部（くわなし皆来館）から主要な場所まで車を利用しての所要時間は、大和支所まで約10分、三原市役所まで約40分のほか、スーパーや病院のある和木地区中心部まで約5分、下徳良中心部まで約10分です。

また、山陽自動車道河内または三原久井インターチェンジまで約15分、広島空港まで約10分です。

図 榎梨地区の位置



## 2 人口・世帯数

### (1) 人口の動向

本地区の総人口を住民基本台帳で見ると、令和2(2020)年で960人になっており、過去5年間で約10%減少しています。

年齢3区分別人口をみると、令和2(2020)年で0～14歳84人、15～64歳435人、65歳以上441人で、高齢化率は約46%になっています。

年齢3区分別人口の推移をみると、過去5年間で各年齢層ともに減少しています。

表 人口の推移

(単位：人，%)

区 分		実 数			増減数	
		H22 (2010)年	H27 (2015)年	R 2 (2020)年	H27(2015)－ H22(2010)	R 2(2020)－ H27(2015)
実 数	0～14歳	116	106	84	△10	△22
	15～64歳	550	503	435	△47	△68
	65歳以上	443	460	441	△17	△19
	合 計	1,109	1,069	960	△40	△109
割 合	0～14歳	10.5	9.9	8.8	－	－
	15～64歳	49.6	47.1	45.3	－	－
	65歳以上	39.9	43.0	45.9	－	－

注：人口は、住民基本台帳（各年3月末現在）。H22(2010)年人口は外国人登録人口を含みません。

### (2) 世帯数の動向

本地区の世帯数を住民基本台帳で見ると、令和2(2020)年で440世帯になっており、過去5年間で8世帯増加しています。

1世帯当たり世帯人員は令和2(2020)年で2.18人になっており、過去5年間で0.29人減少しています。

表 世帯数等の推移

区 分	実 数			増減数	
	H22 (2010)年	H27 (2015)年	R 2 (2020)年	H27(2015)－ H22(2010)	R 2(2020)－ H27(2015)
世帯数(世帯)	420	432	440	12	8
世帯人員(人)	2.64	2.47	2.18	△0.17	△0.29

注：世帯数は、住民基本台帳（各年3月末現在）。H22(2010)年世帯数は外国人登録世帯数を含みません。

### 3 地区活動の状況

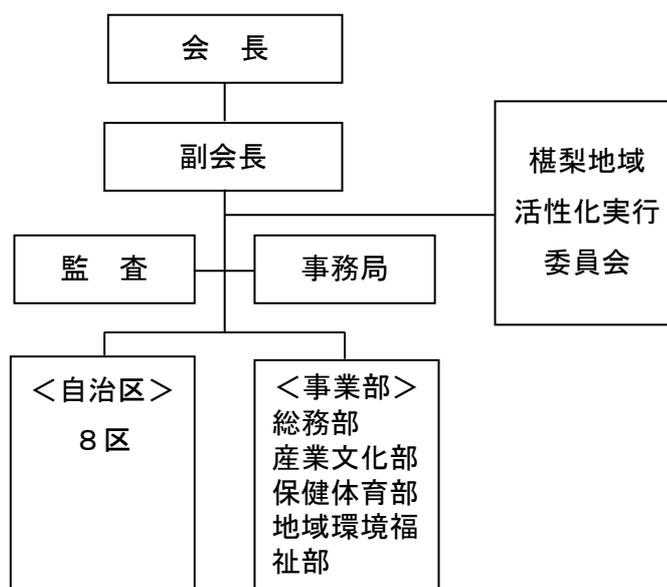
#### (1) 自治区などの団体

##### ア 榎梨自治振興会

榎梨自治振興会は、榎梨上区、榎梨三区、草井一区、草井二区、黒谷区、大具一区、大具二区、大具三区の8区で構成しており、4事業部を設置しています。

また、榎梨地域の活性化事業を専門に行う組織として「榎梨地域活性化実行委員会」を設置しています。

図 榎梨自治振興会の組織



##### イ その他の団体

榎梨自治区以外の主な団体とその活動状況は次のとおりです。

表 その他団体の活動状況

団体名	主な活動
地区社会福祉協議会	・盆踊り等の地区行事の開催 ・高齢者食事サービス等の地区福祉活動
地域福祉ボランティアくわのみ会	・趣味教養サロン活動（くわなし皆来館）
ボランティアひまわり会	・高齢者配食サービス
自主防災会	・消火訓練
榎梨消防団	・火災時、水害時出動

## (2) 主な地区行事

本地区の主な行事は、次のとおりです。

表 主な地区行事

月	行事・祭り	内 容
1月	とんど 新年会	とんど焼きと新春懇親会（各地区）
2月	歩こう会	地域内のウォーキング（椋梨上・下）
3月	防災訓練	椋梨地域住民対象 防火訓練 AED等救急救命訓練等
4月	花見 観音祭	花見懇親会（椋梨下・黒谷）、祭典と餅まき他（野呂・先谷・黒谷）
5月	お茶つみ，お茶づくり	お茶つみ，手もみ煎茶づくり体験会（黒谷）
6月	花田植え，ほたる観察会，草刈り	田植えと懇親会（大具），黒谷川源氏ほたる観察会（黒谷），市道周辺，河川草刈り（各地区）
	くわなし皆来館まつり	椋梨地域住民が参加するおまつり，サロン発表会，屋台，もちまき等 椋梨公民館生涯学習発表会共催
8月	盆踊り	盆踊り（各地区）
10月	椋梨城まつり（隔年）草刈り	椋梨氏の子孫を迎え墓参と神楽奉納（椋梨下），市道周辺草刈り（各地区）
11月	秋祭り，収穫祭	祭典と神楽奉納（各地区）収穫懇親会（法人，クロタニ）
12月	初詣会，歳旦祭	神社で祭典を行い，新年を迎える（黒谷・先谷・草井）

## (3) これまでの取組

椋梨自治振興会（地域活性化実行委員会）では、「ふるさとくわなし元気プラン（椋梨地区活性化計画）」に基づいて平成27(2015)～令和元(2019)年度の5年間に次のような事業に取り組みました

表 「ふるさとくわなし元気プラン」に基づいて取り組んだこと

部 会	事 業
農林業振興部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しいたけ原木伐採，ほだ木販売事業</li> <li>・親子しいたけ菌打ち体験事業</li> </ul>
観光文化交流部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こども農業体験（田植え・稲刈り）事業</li> <li>・椋梨地区年間カレンダー作成・配布（地区住民，地区出身者）</li> </ul>
高齢者子ども支援部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者お助け隊「くわなしふれあい支援隊」の設置（自治区単位）</li> <li>・移動販売車「とくし丸」と連携した買い物支援</li> <li>・「みんなおいでよくわなしへ」（夏休みと冬休みの年2回，大和町内及び帰省中の子どもを対象としたふるさと体験）</li> </ul>
事業推進部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くわなし皆来館運営事業（旧椋梨小学校活用事業）</li> <li>・四國五郎ギャラリー運営</li> <li>・大和町歴史民俗資料館運営</li> <li>・各種サロン運営（くわのみ会趣味教養サロン，げんきカフェ（認知症予防），いきいき健康サロン）</li> <li>・コミュニティビジネス支援事業（文化教養教室：「お話玉手箱」，野球教室，カレーサロン等）</li> </ul>
総務事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内向け情報発信 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとくわなし元気プランたよりの発行</li> <li>・くわなし皆来館たよりの発行</li> </ul> </li> <li>・地区外向け情報発信（インターネットを活用した情報発信） <ul style="list-style-type: none"> <li>・くわなし皆来館フェイスブック</li> <li>・みはら市民協働サイト つなごうネット登録</li> </ul> </li> <li>・くわなし皆来館まつりの開催（椋梨ふれあいまつりのリメイク，公民館学習発表会と共催）</li> </ul>

## 2章 地区の魅力・資源と問題点・課題

### 1 地区の魅力・資源

榎梨地区の魅力・資源について、「ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地区活性化計画）」の内容に榎梨地域ビジョン策定会議及びワークショップ（意見交換会）での意見を加えて整理すると、次のとおりです。

表 地区の魅力・資源

区 分	地区の魅力・資源
自然資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな自然</li> <li>・秋の紅葉などの景色</li> <li>・空気がきれい、のどか</li> <li>・ヒョウモンモドキ</li> <li>・ミネラルウォーター</li> <li>・棕梨川，黒谷川のホタル，水生生物（地区の児童が旧榎梨小学校前の河川にホタルの幼虫を放流，ホタル観察など），水辺教室</li> <li>・下草井八幡神社ツガノキ，住田クスノキ，イチョウ，花かいどう</li> <li>・野呂池一帯</li> </ul>
歴史文化資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神社仏閣（棕梨八幡神社，大具八幡神社，上草井八幡神社，下草井八幡神社など）</li> <li>・備後神楽（大人，子ども神楽）</li> <li>・黒谷古墳</li> <li>・黒谷宝篋印塔</li> <li>・棕梨城跡，草井氏居城懸城址，草井藤市の墓</li> <li>・地域にある史跡など（大溝記念碑，塚，屋号，堂さんなど）</li> </ul>
産業資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休耕田</li> <li>・ほ場整備され農地と大規模な農業生産法人</li> <li>・豊かな農産物（おいしい米，野菜，柿，果物など）</li> <li>・黒谷のお茶（鷹の爪（商標））</li> <li>・オタフクソースの工場（酢の原液生産：産業観光）</li> </ul>
観光・交流資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苅谷乗馬クラブ（ホースセラピー）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理（ちらし寿司，柏餅など）</li> <li>・榎梨公民館</li> <li>・くわなし皆来館（旧榎梨小学校）</li> </ul>

## 2 地区の問題点・課題

榎梨地区の問題点・課題について、「ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地区活性化計画）」の内容に榎梨地域ビジョン策定会議及びワークショップ（意見交換会）での意見を加えて整理すると、次のとおりです。

表 地区の問題点・課題

区分	地区の問題点・課題
地区全体	・人口減少，高齢化・少子化，後継ぎのいない家庭の増加
高齢者の暮らし	・高齢者のみの世帯の食事，買い物等の日常生活の不安 ・年金生活で経済的に不安 ・加齢に伴う健康への不安，認知症の増加 ・サロン参加者の固定化 ・家，庭の管理が難しくなっている高齢者世帯の増加 ・自家用車を運転できなくなった時の交通手段の不安
定住・子育て支援	＜若者＞ ・若者の減少，地区の活気の低下 ・若者の交流機会の減少（同級生が少ない，会わない） ・未婚者の増加 ・町内で仕事（就業先）の選択肢が少なさ，若者が好む仕事の少なさ ＜子ども＞ ・乳幼児，小学生，中学生の減少 ・子どもの遊ぶ場所がない，交流機会の減少 ・高等学校が遠距離，通学させるのが大変
農地・農業	＜有害鳥獣被害＞ ・イノシシ，シカ，カラス，タヌキ等による農作物被害の増加 ・イノシシ駆除期間が短い，免許保持者が少なく対策が不十分 ＜農業後継者，農地の管理＞ ・農業後継者の減少 ・高齢化に伴う草刈りの困難化，休耕田の増加
林地・林業	・山林の荒廃の進行と竹林の増加 ・シイタケ菌打ちほだ木のPR不足
生活環境	・大和ふれあいタクシーの利用が不便 ・公共交通が不便，自家用車に乗れなくなった時の不安 ・近くに商店，スーパーがなく，買い物が不便 ・医療機関が少ない，小児科がない，専門医がいない ・椋梨川が氾濫（大雨，台風，梅雨時）
地区活動	＜地区活動・近隣関係＞ ・高齢化に伴い地区活動の担い手及び行事参加者の減少 ・一人が複数の役を担い大変 ・近隣関係が希薄化，世代ごとに集まる機会の減少 ・高齢化に伴い草刈り等の共同作業への参加者の減少 ＜歴史文化の継承＞ ・備後神楽（大人，子ども神楽）など歴史文化の継承への不安 ＜行事・祭り＞ ・行事・祭りへの参加者の固定化 ・行事・祭りが多すぎて負担 ＜自主防災活動＞ ・防火訓練，避難訓練ができていない ＜情報発信＞ ・フェイスブックによる情報発信が少ない

### 3章 地域ビジョン

#### 1 地区の将来像

本計画では、「ふるさとくわなし元気プラン（樫梨地区活性化計画）」策定時に掲げた地区の将来像を踏襲し、次のとおりとします。

##### <地区の将来像>

**魅力満載、誰もが訪れ、暮らしたくなる「樫梨」**

#### 2 地区づくりの目標設定

##### (1) 目標設定

地区の将来像の実現に向け、次のとおり目標を設定します。

##### ア 自治振興会加入率

現状値	めざす方向	目標値	備考
概ね100% (令和2年度)	現状維持	概ね100% (令和7年度)	・現状値は町内会・自治会調べ

##### イ 新規事業数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和2年度)	増加	4事業 (令和3～7年度)	

##### ウ 他団体との連携事業数

現状値	めざす方向	目標値	備考
— (令和2年度)	増加	13事業 (令和3～7年度)	

##### エ 地区への移住者数

現状値	めざす方向	目標値	備考
0人 (令和2年度)	移住促進	50人 (令和3～7年度)	・毎年4世帯，10人の移住

##### オ くわなし皆来館来訪者数

現状値	めざす方向	目標値	備考
3,600人 (令和元年度)	増加	4,800人 (令和7年度)	新規事業増加 月100人増

##### カ 地区出身者との交流数

現状値	めざす方向	目標値	備考
0人 (令和元年度)	増加	50人 (令和7年度)	みらい館祭りに招待

## (2) 人口の将来見通し

平成27(2015)年から令和2(2020)年の人口(住民基本台帳)の推移が継続した場合の人口の将来見通しを推計すると、地域ビジョン策定年次の令和2(2020)年から10年後の令和12(2030)年には724人になり、令和2(2020)年と比較して236人減少するものと見込まれます。年齢3区分別人口をみると、各年齢層ともに減少し、高齢化率は約50%になるものと見込まれます。

こうした状況に対して、総人口の減少はやむを得ないものの0～14歳人口が増加に転じることを目標として、本計画で掲げる「若者・子どもが快適に生活できる環境づくり」をはじめとする各種取組を推進します。その結果、毎年20歳代前半の夫婦1組、30歳代前半の夫婦(子ども1人)2組、60歳代前半の夫婦1組が、過去5年間の動向より増加するものとし、令和12(2030)年の総人口を約830人と設定します。

注：人口推計は、島根県中山間地域研究センターの人口予測プログラムを用いました。

図 目標人口

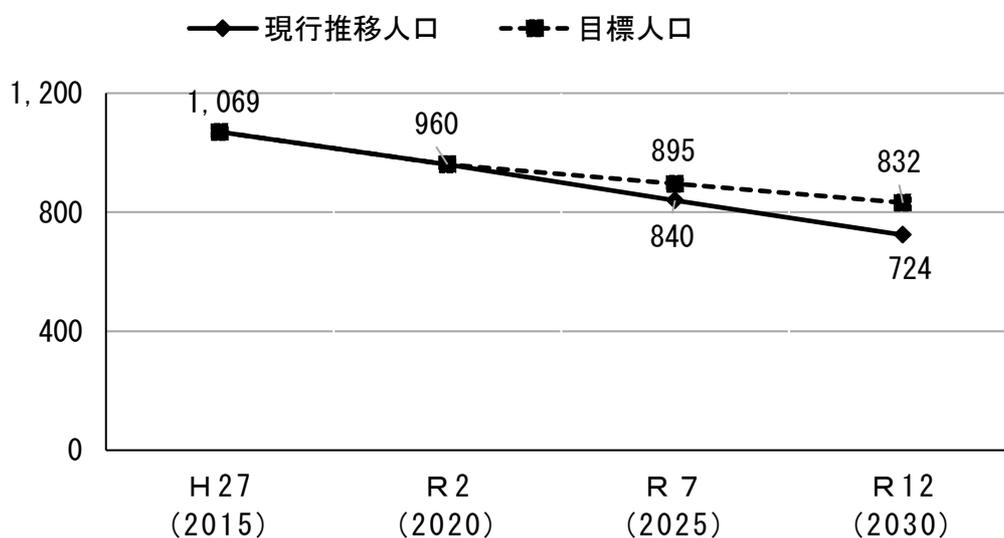


表 目標人口

区分	令和2(2020)年	令和7(2025)年	令和12(2030)年	令和12(2030)年 －令和2(2020)年
0～14歳	84	83	88	4
15～64歳	435	409	370	△65
65歳以上	441	403	373	△68
合計	960	895	832	△128

注-1：過去5年間の推移と比較して、毎年20歳代前半の夫婦1組、30歳代前半の夫婦(子ども1人)2組、60歳代前半の夫婦1組が増加するものとした。

-2：出生率は、H27.4～R2.3までに出生した人口(0～4歳)をR2.3の20～39歳の女性人口で除した値。男性0.17、女性0.18。

-3：令和2(2020)年は3月31日現在の人口。

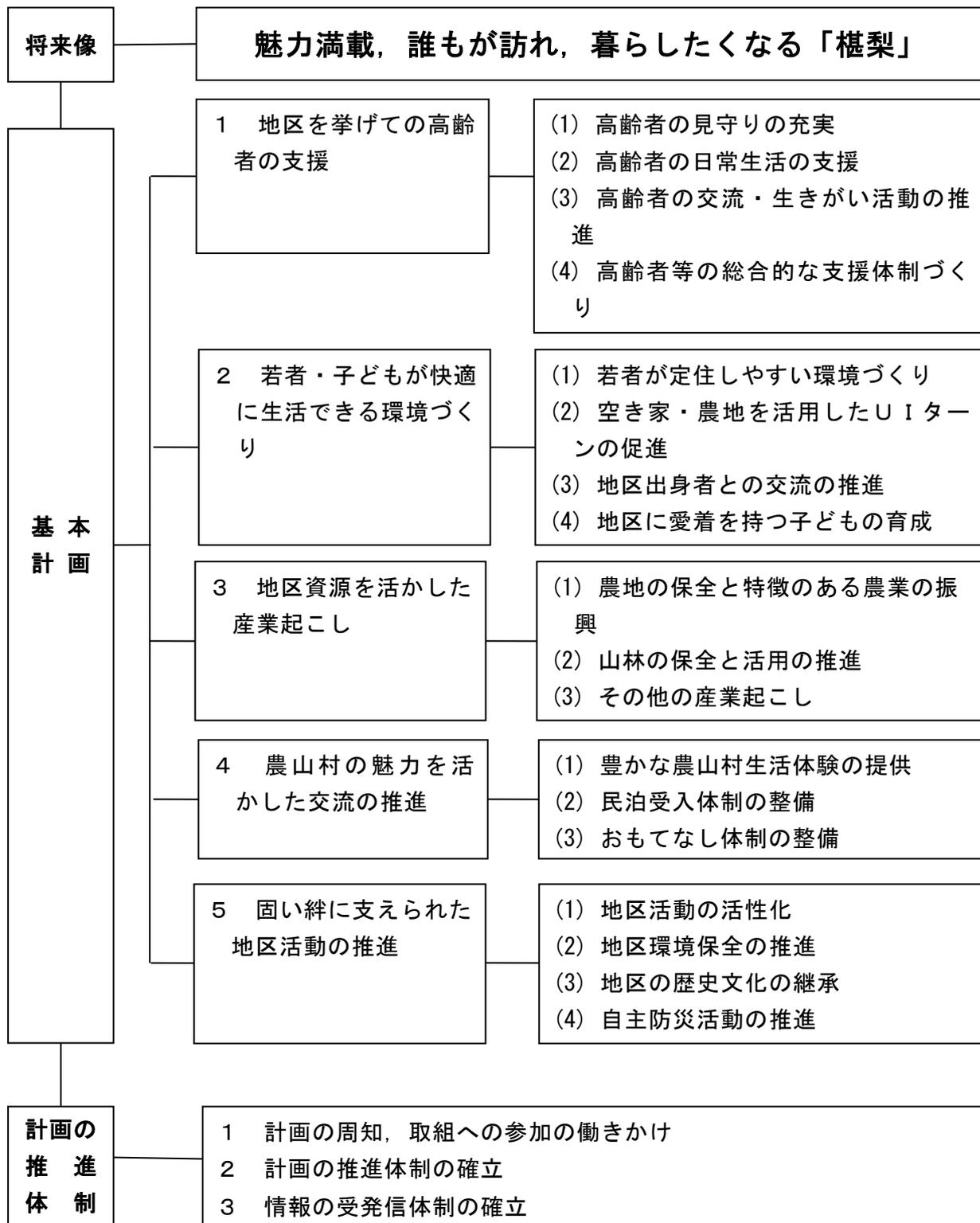
参考 現行推移の場合の将来人口

区分	令和2(2020)年	令和7(2025)年	令和12(2030)年	令和12(2030)年 －令和2(2020)年
0～14歳	84	68	54	△30
15～64歳	435	369	307	△128
65歳以上	441	403	363	△78
合計	960	840	724	△236

### 3 地区づくりの体系

地区の将来像の実現に向けて、地区づくりの基本計画及び計画の推進体制を次のように掲げます。

図 地区づくりの体系



### 3 地区づくりの基本計画

地区の将来像を踏まえて、地区づくりの基本計画として5つの柱と主な取組を掲げます。なお、取組事項は「ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地区活性化計画）」の内容を踏まえるとともに、榎梨地域ビジョン策定会議及びワークショップ（意見交換会）などにおける意見のうち、榎梨自治振興会をはじめとする各種団体及び住民が取組主体になる事項をとりまとめました。

## 1 地区を挙げての高齢者等の支援

### (1) 高齢者等の見守りの充実

- ・見守り対象者の明確化，基準づくり  
（世帯構成，年齢基準，障害者，軽い認知症の人等）
- ・近所同士での声かけの働きかけ
- ・高齢者等の地域見守り活動の充実  
（男性は男性，女性は女性が担当する見守り体制の検討）
- ・榎梨地区内で見守り活動状況が共有できる場づくり  
（見守り活動の方法等の情報交換，他地区の取組の研修等）

### (2) 高齢者等の日常生活の支援

#### ア 外出支援

- ・大和ふれあいタクシーの地域外への運行の働きかけ  
（JR山陽本線河内駅，世羅町中心部，豊栄町中心部との連絡）
- ・サロンの送迎において自家用車を使用する際の傷害保険加入の支援
- ・自家用車を運転できない高齢者がサロンへ参加する際の交通手段の検討

#### イ 買い物支援

- ・移動販売車とくし丸のPRの強化と一層便利に利用できる仕組みづくり（移動販売車運行事業者，利用者，自治振興会等で定期的な意見交換会の開催）
- ・自家用車を運転できる人の車に相乗りして買い物に行く仕組みづくり  
（曜日，時間，謝金等の調整）

#### ウ 困りごと支援

- ・高齢者のみの世帯，庭回りの清掃，ごみ出しなどの困りごとを支援する「おたすけ隊」活動の充実，未組織地区への設置の働きかけ

#### エ その他

- ・集落（椋梨，大具，上草井，下草井）ごとに，高齢者が食事できる場所づくり

### **(3) 高齢者等の交流・生きがい活動の推進**

#### **ア サロン活動の推進**

- ・くわなし皆来館で行っている常設サロン（健康増進サロン，元気カフェ（認知症予防カフェ），各種趣味教養サロン）活動の充実
- ・各種サロン参加者の拡大に向けた取組の推進（サロンのPR，サロン内容の改善，参加する際の交通手段の検討）

#### **イ 世代間交流の推進**

- ・子どもとの交流（凧作り，うどん，そば打ち体験等），保護者を含めた世代間交流の場づくり
- ・ラジオ体操の集いの実施

#### **ウ その他**

- ・一人暮らしの男性高齢者などのための料理教室の開催

### **(4) 高齢者等の総合的な支援体制づくり**

- ・住民の困りごとや不安なこと，サロンや見守り活動などの実施状況，成果と課題を共有し，今後できたら良いことを話し合う場（懇談会やネットワーク会議）の定期的な開催
- ・参加メンバーは自治振興会，地区社会福祉協議会，民生委員・児童委員，ふれあい・いきいきサロン，地域福祉ボランティアくわのみ会，ボランティアひまわり会，なごみ会，地域見守り活動関係者などに加えて，福祉専門職へも参加を呼びかけ，住民と福祉専門職が顔の見える関係づくりの推進

## 2 若者・子どもが快適に生活できる環境づくり

### (1) 若者が定住しやすい環境づくり

#### ア 就業の場の確保の支援

- ・若者の就業の場の確保への支援
- ・若者に魅力のある企業誘致（先端産業）への協力
- ・地区内事業所の雇用情報の収集，関係住民へ情報提供

#### イ 若者の出会い，交流の場の確保

- ・若い男女が出会い，交流する場（スポーツ観戦，カヌー，ウィンドサーフィン，パークゴルフ，フリーマーケット，夜市等）の提供
- ・地区外からの来訪が見込まれるイベントに婚活要素を盛り込み，若者の出会いの場づくり

### (2) 空き家・農地を活用したU I ターンの促進

#### ア おためし住宅の整備と多様な体験の提供

- ・空き家を田舎移住希望者向けのおためし住宅として整備
- ・多様な地区体験の提供による移住のきっかけづくり

#### イ 空き家活用の推進

- ・空き家の把握，調査，所有者の確認，賃貸・売却等の意向把握，空き家所有者への市の空き家バンク登録の支援
- ・移住希望者が空き家を借りやすい条件づくり（低家賃，無償貸出，屋内修繕が自由にできるように所有者と調整する等）
- ・U I ターン希望者に対する地区での相談体制の確立

#### ウ 就業の場の提供

- ・住宅の確保と併せて野菜づくり，農業をしたい人へ農地の斡旋
- ・地区及び近隣にある事業所の紹介

### (3) 地区出身者との交流の推進

- ・地区出身者がUターンしやすい環境づくり  
（地区イベント情報の発信，Uターンに関する相談支援等）
- ・地区出身者が帰省して楽しめるイベント（春，夏，秋）の開催
- ・盆，正月などにおける同窓会，クラス会（小中学校時代等）開催の支援

### (4) 地区に愛着を持つ子どもの育成

- ・地区の子ども達などの絆づくりと多様なふるさと体験を提供するために実施している「みんなおいでよくわなしへ（夏休み，冬休み中の2回／年）」の充実
- ・子どもが楽しんで参加できるイベント，幼児・小学生を巻き込んだイベントづくり
- ・子どもが日常的に集まり，遊ぶことができる子どもわんぱく公園の整備（くわなし皆来館へ子どもの居場所づくり）
- ・荒れた山林に栗などを植樹し，子どもの里山体験の場として整備

### 3 地区資源を活かした産業起こし

#### (1) 農地の保全と特徴のある農業の振興

##### ア 有害鳥獣被害防止対策

- ・補助金を活用したイノシシ防護柵の設置と管理体制の確立
- ・箱罾及びくくり罾設置の拡充と餌付けの工夫によるイノシシ駆除の推進

##### イ 農地の保全対策

- ・農地の畦畔にムカデ芝、芝桜などの植栽による雑草の防止
- ・都市住民を対象に草刈り応援ツアーの企画・募集，草刈りの担い手としての活用
- ・補助金を活用した草刈の実施
- ・羊の飼養による遊休農地の草刈り
- ・遊休農地の活用方策の検討（ハトムギ，綿花，手間のかからない作物の栽培）

##### ウ 担い手の確保，育成

- ・農地中間管理機構を活用した農地の集約化の推進
- ・農事組合法人の体制強化による農地の管理面積の拡大
- ・農事組合法人における外国人雇用を含む担い手の確保，育成
- ・非農家の住民，都市住民を対象とした農業体験及び農業研修の場の提供による新たな担い手の確保，育成
- ・新規就農者の受け入れ体制づくりと広域的な新規就農者募集
- ・都市住民が気楽に農業に参入できる環境づくり（市民農園の設置，農作業の支援，宿泊場所の提供等）
- ・広島県などの就農支援制度を活用した新規就農者の受け入れ，育成

##### エ 特徴のある農業の推進

#### (7) 魅力ある農産物の生産

- ・農事組合法人と連携した減農薬，無農薬野菜の栽培による農産物のブランド化への取組
- ・黒谷茶「鷹の爪」のブランド化，黒谷手もみ煎茶と三原だるまなどのコラボによる新商品づくり（みはらだるま茶器等）
- ・大和地域の特産品であるハトムギの遊休農地を活用した生産の拡大とハトムギ茶をはじめとする加工品づくりの推進
- ・野菜，果樹，薬草，そばなどの新たな品目の導入による特産品づくり
- ・果樹のオーナー制度の導入など，観光農園運営の検討

#### (イ) 多様な流通ルートの開拓による農産物の販売促進

- ・消費者との直接取引（ネット販売等）の推進による農業所得の向上
- ・土付き農産物の道の駅（よがんす白竜，みはら神明の里）などでの販売
- ・地区特産品（ハトムギ茶，黒谷手もみ煎茶等）の三原市のふるさと納税返礼品登録の働きかけ
- ・しめ縄，わら細工の材料，肥料などに活用される稲わらの販売

## (2) 山林の保全と活用の推進

### ア 山林の保全

- ・山林保全への関心の醸成と山林管理人材の雇用の働きかけ
- ・里山環境整備ボランティアの募集（地区出身者，都市住民に里山整備の担い手になって活動してもらう）

### イ 林業の振興

#### (ア) シイタケ菌ほだ木の製造，販売

- ・シイタケ菌打ちほだ木のPRの強化（良質かつ安いこと），販売ルートの拡大
- ・シイタケの成長過程をインターネットで配信することによる商品のPR
- ・シイタケ菌打ちほだ木の使用期間を明記による新規ほだ木の販売促進

#### (イ) 間伐材の活用

- ・薪ストーブの復活・普及と間伐材を活用して薪ストーブ用の薪づくり
- ・間伐材のバイオマス利用

#### (ウ) 竹林の活用

- ・竹細工工房を設置し，竹のチップ化（機械導入），竹炭，竹酢，肥料などの製造，販売
- ・季節商品の門松の注文製造

#### (エ) その他の山林の活用

- ・山菜の宝庫とするとともに加工品の製造，販売
- ・マツタケ山の復活の研究
- ・料理の添え物販売（モミジ，柿の葉等）の体制づくり

## (3) その他の産業起こし

### ア くわなし皆来館を活用したコミュニティビジネスの展開

- ・カレーサロンの運営
- ・四國五郎ギャラリーの運営と平和学習の場としての活用
- ・三原市の有識者による文化教養教室「お話玉手箱」の実施
- ・青少年スポーツ振興事業の実施（プロ選手によるスポーツ教室等）

### イ ハトムギ焼酎の製造，販売

- ・JA広島中央及び地元酒造メーカーと連携し，大和特産ハトムギを原材料とするハトムギ焼酎を製造し，NPO法人ふるさとくわなしを通じて販売する体制の強化
- ・製造過程で出る酒粕を活用した製品開発（せんべい等）の検討

#### ウ 廃棄される馬の蹄鉄の活用

- ・ 苜谷乗馬クラブで廃棄される馬の蹄鉄を活用した装飾品づくり（ペイントしてお守りの製作等）、装飾品づくりのグループの育成と装飾品のPR及び販売の推進

#### エ その他

- ・ 名水と休耕田を活用し、カラス貝、ドジョウの養殖の検討
- ・ どぶろく作りの検討（どぶろく特区の指定と製造販売体制づくり）
- ・ 田治米鉾泉所，水，お多福の工場を活用した特産品づくり

## 4 農山村の魅力を活かした交流の推進

### (1) 豊かな農山村生活体験の提供

- ・三原市大和町農山村体験推進協議会と連携し、都市部の子ども及び親子へ自然、歴史文化、産業など農山村生活体験の提供
  - ・自然：山登り，川遊び，ホテル観察，昆虫採集等
  - ・農業：田植え，稲刈り，芋掘り，レンコン掘り，手もみ煎茶づくり等
  - ・林業：ほだ木へ椎茸菌の植菌，成長した椎茸の収穫体験等
  - ・歴史・文化：大和町歴史民俗資料館，椋梨城跡見学等
  - ・地区行事：とんど祭り，夏祭り，秋祭り，神楽等
  - ・野外レクリエーション：乗馬，サイクリング等
- ・四國五郎ギャラリーを活用した平和学習，大和町歴史民俗資料館を活用した歴史文化学習機会の提供
- ・利用層（ファミリー，小中校生，大学生，若者，高齢者等）のニーズに合わせた特徴のある農山村体験交流プログラムづくり
- ・観光協会，三原市大和町農山村体験推進協議会と連携したツアー企画・募集，ツアー受け入れスタッフの確保・育成

### (2) 民泊受入体制の整備

- ・民泊受け入れ農家などの募集，説明会・講習会の開催，受け入れ農家への支援
- ・民泊受け入れによる滞在型農山村生活体験の提供（児童だけでなく，成人を対象とした民泊受け入れ）

### (3) おもてなし体制の整備

- ・椋梨観光・交流資源の掘り起こし調査，椋梨魅力マップの作成・配布
- ・椋梨地区の玄関口などに，地区を意識できる大きなモニュメント，地区観光案内看板，個別案内看板などの作成・設置
- ・つながうねっと，フェイスブックによる情報発信の強化  
（椋梨地区の観光・交流資源，年間行事日程，行事・イベント内容の紹介等）
- ・地場食材を活用した農家レストランの設置，運営  
（パン，菓子，郷土料理，駆除したイノシシ肉を活用したジビエ料理等の提供）

## 5 固い絆に支えられた地区活動の推進

### (1) 地区活動の活性化

#### ア くわなし皆来館を交流拠点とした活動の推進

- ・健康増進サロン，元気カフェ（認知症予防カフェ），各種趣味教養サロンなどの活動の充実
- ・四國五郎ギャラリー運営の充実（企画展の開催等）と児童・生徒などの平和学習の場としての活用の働きかけ（三原市をはじめとする小中学生の平和学習の場としての活用）
- ・文化スポーツ活動を表彰する四國五郎賞の設立，作品発表会の開催
- ・大和町歴史民俗資料館を活用した歴史文化学習の推進
- ・集いの場（カフェ，食事）の充実
- ・生涯学習，スポーツ，サークル活動の充実
- ・新規取組の検討（映画鑑賞会，グラウンド・ゴルフ大会，スポーツのパブリックビューイング等）

#### イ 住民交流の推進

- ・地区内の絆づくりと地区づくりの方向性を共有する場として，世代ごとの交流会の開催
- ・各地区・集落における交流の推進
- ・雇用促進住宅に住む住民への行事・祭りへの参加及び自治振興会加入の働きかけ

#### ウ 行事・祭りへの住民参加の促進

- ・年間行事・祭りカレンダーの作成・配布
- ・地区の老若男女が参加できる行事の企画・開催
- ・若者の参加が増える方法の検討
- ・近所同士で声の掛け合いによる地区行事・祭りへの参加者の拡大
- ・地区出身者が地区住民と交流したくなる行事・祭りの開催

#### エ 行事・祭りの充実

- ・榎梨公民館と連携したくわなし皆来館まつりの開催による活性化
- ・榎梨地区全体の盆踊り大会，どんどの開催
- ・区民運動会の復活，フリーマーケットの新規開催
- ・子どもが喜ぶ行事の開催（保護者も参加して盛り上げる）

### (2) 地区環境保全の推進

- ・地区の有志で草刈り作業請負組織をつくるとともに，地区での共同作業の推進
- ・雑草防止対策としてムカデ芝，芝桜などの植栽

### **(3) 地区の歴史文化の継承**

- ・ 神楽の継承（子どもを含む）
- ・ 地区の歴史文化の発掘，継承，田舎芝居などの伝統的行事の復活
- ・ 大和町歴史民俗資料館における民俗資料の収集と保存，パネル展示などにより，地区の歴史文化の紹介と継承
- ・ 日本で唯一の地元出身の平和追求詩画家四國五郎の学習
- ・ 古写真展示会の継続開催

### **(4) 自主防災活動の推進**

- ・ 自主防災組織の見直し，体制の強化
- ・ 各家庭における防災，災害時避難に関する意識の高揚（避難袋の準備，裏山の点検等）
- ・ 近所同士で密に連携をとる体制づくり
- ・ ウォーキングと併せた地区の防災点検（ウォーキングコースに点検場所を追加）の実施
- ・ 専門的な防災知識を持つ人材の育成（防災士取得支援，各種講演会への派遣等）
- ・ 災害時における情報の収集・伝達，警戒避難体制の充実（特に，要支援者避難支援体制の確立）
- ・ 防災備品・機材の計画的な備蓄
- ・ 防災及び災害時避難意識の高揚
- ・ 災害時の炊き出し，避難所生活の模擬体験の提供などによる親しみやすい避難訓練の実施
- ・ 避難所運営マニュアルづくりと運営人材の確保

## 5 計画の推進体制

### (1) 計画の周知，取組への参加の働きかけ

各種団体の会合などで「第2次ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地域ビジョン）」の周知を行い，住民一人ひとりの地区づくりへの当事者意識を醸成するとともに，地区づくり活動への参加を働きかけます。

### (2) 計画推進体制の確立

「第2次ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地域ビジョン）」を実行する体制を次のように確立し，各種事業の実施に取り組みます。

#### ア 幅広い参加と持続的に活動できる体制の確立

- ・「第2次ふるさとくわなし元気プラン（榎梨地域ビジョン）」の実行にあたっては，「榎梨地域活性化実行委員会」及び「NPO法人ふるさとくわなし」を中核として今後も取り組むこととし，幅広い人材の参加を働きかけるとともに，地区内の団体との連携を強化します。
- ・これら組織へ女性，若者の参加を促進するため，同世代の横の結びつき，若い世代の多い消防団，保護者会及びPTAなどを活用した参加の働きかけ，会議の開催曜日・時刻への配慮などによる参加しやすい環境づくりに取り組みます。
- ・地区の人材，事業所などの得意分野を整理したリストを作成し，地区づくりに適材適所で協力してもらう体制を確立します。
- ・講習会・研修会などへの参加，先進地視察の実施などによる人材育成に取り組みます。

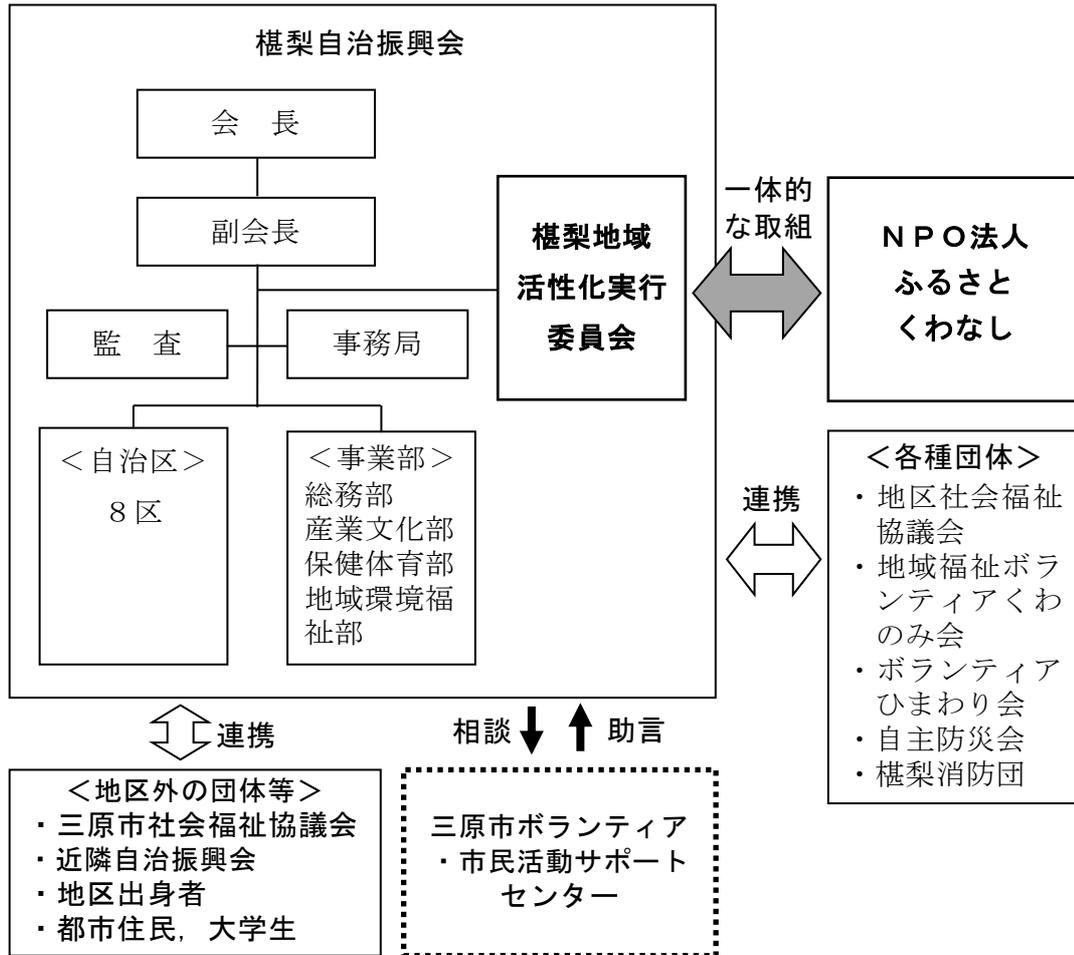
#### イ 地区外の個人，団体との連携の強化

- ・三原市ボランティア・市民活動サポートセンターと連携し，地区づくりへの助言，専門的人材の紹介・派遣などの支援を受け，地区づくり活動の活性化を図ります。
- ・三原市中山間地域の共通課題（高齢者の生活支援，UIターン促進，観光・交流，情報発信等）へ効果的に取り組むため，他地区との連携を強化します。
- ・地区外の団体との連携を強化して地区づくりへの応援を受けるとともに，地区出身者，都市住民，大学生などに対して，地区行事への参加や地区づくりへの応援を働きかけます。

#### ウ 活動財源の確保

- ・活動資金を確保するため，収益事業の導入を積極的に検討するほか，国，県，市などの支援制度の活用を図ります。
- ・収益事業を展開しているNPO法人ふるさとくわなしの活動の強化に取り組みます。

図 地域ビジョンの実行体制



### (3) 情報の受発信体制の確立

#### ア 地区内への情報の受発信

- ・ 地区情報が住民一人ひとりに周知徹底できるように、今後も回覧板を通じて情報周知の徹底を図ります。また、「ふるさとくわなし元気プランたより」及び「くわなし皆来館たより」の発行を継続するとともに、内容の充実を図ります。
- ・ 若者世帯に対しては、榎梨地区のホームページ、フェイスブック、SNSを活用した情報の受発信に取り組みます。

#### イ 地区外への情報の受発信

- ・ 今後も榎梨地区のホームページ、フェイスブックなどを活用し、地区出身者、都市住民、大学生などに対して地区の魅力や活動（年間行事・祭りカレンダー）、空き家情報などを発信するとともに、発信する情報の充実を図ります。
- ・ 各種団体、個人のホームページ、フェイスブック、SNSなどを通じて、地区外の知人・友人などへ地区イベントなどの情報発信を働きかけます。

#### ウ 人材の確保・育成

- ・ 榎梨地区のホームページ、フェイスブックなどを管理、活用できる人材を確保・育成し、タイムリーな情報の受発信体制を強化します。